



関西青少年サナトリウム

ひろば

敷居の低い 癒しの場としての病院をめざして

(2015. 1. 1 第119号)



医療法人 社団 東峰会
関西青少年サナトリウム

〒651-2403

神戸市西区岩岡町西脇 838 番地

TEL 078-967-1202(代)

FAX 078-967-3626

HPアドレス <http://www.tohokai.jp/>

E-アドレス office@tohokai.jp

広報誌へのご意見・ご希望を上記
E-メール・FAX でお寄せ下さい。

平成27年 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

平素より格別のご厚情を賜り、誠に有難うございます。2015年の新年を迎えるに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本院ではかねてより、「発症から、急性期治療、リハビリ、回復に至るまでの継ぎ目のない“シームレス”な医療及びケア」の実現に努めてまいりましたが、今年には以下のような具体的な3点についてより一層努力したいと考えています。

1 急性期治療の質的向上と新たな治療方法の積極的導入

「入り口」の重要性は再度強調すべきです。治療成績の向上と良好な入院体験が、予後を決定し再発予防に繋がります。ひいては、未治療期間の短縮にも寄与します。その一環として、クロザリルの使用や m-ECT の実施（今年2月より）にも積極的に取り組んでいきます。

2 長期入院患者の地域移行の促進

看護やOTを中心としたリハビリ技術の向上と居住の場（グループホーム、アパート等）の確保に注力します。

3 地域生活を支援するための医療及びケア体制の充実

訪問看護や訪問介護、デイケアや就労支援、及び相談支援等の事業の推進のみならず、行政や自治会或は商工会といった街を構成する様々な団体や個人との幅広い連携に意を注ぎ、啓発普及にも努めます。



さて、経済界では株高を中心とした局所的ミニバブルの様相を呈しているようですが、医療・福祉を取り巻く状況はなお厳しく、例の「しずく」が落ちてくる気配は皆無です。ピケティに注目が集まるのも故なしとしません。一方、「他者」や「異質なもの」に対する差別と排除の論調が勢いを増しているように見受けられます。このような憂慮すべき状況の中、私達は「敷居の低い癒しの場としての病院をめざして」の理念の下、今後も精神医療の改革に微力ながら貢献したいと念じています。

奇しくも、今年にはあの阪神・淡路大震災から20年になります。阪神・淡路大震災で語られ、4年前の東日本大震災で熱心に議論されたあの“共生”或は“共助”の精神をこれからも大切にして行きたいと思えます。

最後になりましたが、皆様の御健康と御多幸をお祈りしつつ、本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



医療法人 社団 東峰会
関西青少年サナトリウム
院長 瀬川義弘

姫路中央体育館にて兵精協親善卓球大会がありました。当院からも個人戦男女各1名、団体戦に参加しました。毎週の練習の成果を発揮し個人戦はアベック優勝！団体戦は相手が強敵だったこともあり惜しくも初戦敗退という結果ではありましたがチーム一丸となりベストを尽くしてきました。初戦敗退とはいえ当院の卓球は優勝を狙える力は十分にあります。我こそはと思う当事者の方は病棟のレク委員、DCスタッフ(レク担当)に声をかけ

てください、念願の初優勝と一緒に目指しましょう！



病棟クリスマス会

12月中旬

今年も各病棟で趣向を凝らした催しが開かれました。



Merry Christmas



ARTSHIP 明石 2014 参加報告

H26.12.3



明石市文化博物館で開催された“ARTSHIP 明石 2014”に行ってきました。アート展の作品は、すべてが障がいのある方のものです。

どの作品も豊かな個性や想い、自由な発想など感動させられるものばかりでした。

昨年に続き今年も当院から多くの方が出展することができました。

互いの作品に刺激を受け、見学した参加者からは「細かな作品でよかった」、「来年もあるのかな。次は何作ろう。」と次回作への意欲も感じられました。

今回アート展に参加させて頂き、感性や感情などすべての人が平等であり、すべての人に可能性があることを改めて感じる事が出来ました。

